

## すいた環境サポーター養成講座 第7回目

日時：10/25(木)18：30～20：30

場所：千里市民センター8階 多目的ルーム（2）

### ◆再生可能エネルギー 大阪府の現状と課題

講師：大阪府環境農林水産部エネルギー政策課 企画推進グループ 紀田 征也 氏

大阪府における再生可能エネルギーの現状と課題について学びました。

本日の内容を詳細に分けると、①エネルギーの現状・②国のエネルギー政策動向・③再生可能エネルギー普及の課題・④大阪府のエネルギー施策の項で構成されています。

①エネルギーの現状として、先ずエネルギー政策の歴史やエネルギー需給の推移の説明が有り、それを踏まえて現代及び今後の未来にどのような目標が設定されているのかを学びました。

②国のエネルギー政策動向では、エネルギー基本計画とエネルギーミックスを中心に、その内容や進捗状況などを学びました。

③再生可能エネルギー普及の課題では、我が国の政策の方向性について説明を受けた後、再生エネルギーの発電コストや送電網の確保などの課題について学びました。

④大阪府のエネルギー施策については、おおさかエネルギー地産地消推進プランの内容などを学びました。受講生からは固定価格買取制度（FIT）について沢山の質問があがっていました。

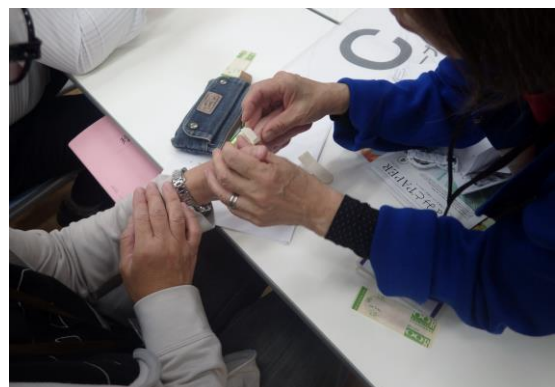


### ◆アウトドア ファーストエイド

講師：特定非営利活動法人大阪府民循環型社会推進機構 事務局長 逸見 祐司

ボランティア活動中の参加者への応急処置の必要性について、R I S Eの法則を通じた止血法について説明を受けた後、続いて簡単な怪我をした際の「はがれない絆創膏の貼り方」の実習を行い、最後に迅速な処置ができる三角巾の意義を学びました。

止血法では直接圧迫止血法と間接圧迫止血法を学びました。直接圧迫止血法は傷口を直接押さえつける事により止血を行う方法で、間接圧迫止血法は止血点を圧迫する事により、止血を行う方法です。



はがれない絆創膏のはり方では、「簡単な事だけどその発想はなかった」との驚きの声があがっていました。  
三角巾の意義について、結びとめる方法の1つとして本結びの活用法を学んで、受講生の中には手品みたいだ言う人もいました。

◆ふりかえり

第7回目も、個人でのふりかえり、グループでのふりかえりをして、終了しました。